

たんちょう通信

～ 第 98 号 ～



丹羽 孝直

こんにちは、丹頂ガスの丹羽です。いつも「たんちょう通信」をお読みくださり、誠にありがとうございます。8月は夏休みの月です。今回は家族のお話をさせていただきます。長男が岐阜県瑞浪市にある「中日本生涯学習センター」が企画する小・中学生対象の「サマーキャンプ」に参加しました。瑞浪市の屏風山の麓の研修施設です。そこは、瑞浪麗澤高等・中学校が同じ敷地内にある広大な敷地で、その広場にテントを張って行う5泊6日の「サマーキャンプ」です。小5の長男は今年で2回目の参加でした。昨年「とっても楽しかった!」と言っていたので、快く参加すると思っで長男に声を掛けたところ、「パット」しない返事が返ってきました。どうやら約1週間家族から離れるのが寂しかったようでした。この「サマーキャンプ」は、飯盒炊飯、キャンプファイアー、川遊びに、山登りと普段ではできない体験ばかりでした。最終日の夜には、「家族からの手紙」を受け取ります。今年、私が書きました。もちろん、長男に手紙を出すのは初めてでした。運営側から「手紙の書き方」が親切に記されていました。まず、封筒の表書きと手紙の書きだしの名前は、子供を尊重する意味でも「様」付けで書くよう指示がありました。これもまた、長男を「様」付けしたのも初めてでした。文章は「起承転結」に①「子供がご自身のもとに生まれた当時の様子とその気持ちや思い」②「ご自身が幼少期の頃、ご両親との思い出や子供の頃の夢」③「お子様に、将来どのような大人(人間)になって欲しいかという願い」に尊敬と愛情を表して思いを伝えてくださいとありました。昔のことを思い出しながら、素直な気持ちで便箋3枚分の手紙を書きました。書いているうちに自然と「感謝」の気持ちが湧いてきました。普段「感謝」出来ないことへの「感謝」や、当たり前なことへも「感謝」そして、手紙の最後に私の「座右の銘」の一つである言葉「人生に無駄な経験など何一つない」と記しました。この言葉は私の恩師である「青年塾」の「上甲塾長」からの「教え」です。最終日に、「サマーキャンプ」の感想文の発表会がありました。私は長男の発表を聴いて驚きました。5日目に、岐阜県恵那市と瑞浪市にまたがる標高794.1mの屏風山へ登りました。下山時に、長男が集団から離れてトイレに行った後、後を追って行くうちに道に迷ったそうです。その時、同行していただいた「スタッフの宮田さん」と一緒に山を下りてきましたが、どうやら到着地の瑞浪市ではなく、反対側の恵那市へ下りてきたそうです。そこから研修施設まで徒歩で2時間半、そこで通りがかりの「老夫婦」に尋ねたところ、恵那市から土岐市まで帰る道中、瑞浪市へ立ち寄って頂けると「ヒッチハイク」をして帰ってきたと、今ここに居るのは「スタッフの宮田さん」のお陰ですと発表していました。山道を歩いている時は、とっても不安でしたが、公道に出てこれて「ホッとした」と家に帰ってから言っておりました。土岐市の「老夫婦」と「スタッフの宮田さん」へは感謝の気持ちで一杯です。長男にとって今年の夏は「思い出深い体験」で「感謝」することを人一倍養えたことだと思います。今年の夏も「サマーキャンプ」を運営していただいた皆様へ改めて御礼申し上げます。ご一読くださりありがとうございます。感謝





たんちょう隊の公式LINEはこちら!



住まいのちょっとしたお困りごとの解決方法をお知らせしています。



公式Instagramはこちら!

たんちょう隊の活動や日常の様子を投稿しています。フォローをお願いします!



丹羽智彦

皆さま、こんにちは。今年5月に中途入社しました丹羽智彦です。



私の小学校の頃は、まだ土曜日は休みではなく、学校の授業が午前中にある時代でした。当時は、現在の丹頂ガス(株)の前身であり「丹羽プロパン商会」が四日市の元町にありました。

私の母はコンビニ働いてくれたので「鍵っ子」の私は、毎週土曜日の放課後、三交バスに乗って、

元町駅に行って、会社の台所を借りて母親が昼食を作ってくれました。そして、中部中学校の近くにある普通教室にも通い、時には丹羽社長のお部屋で学校の宿題をやったり、くつがせても頂きました。

中学生に上がると、父親の会社が週休2日制になりましたので、土曜日のお昼は父親が食事を作ってくれました。父親のつくり料理?がかなり特殊で、例えば私の大好きな「日清の焼きそば」を作ってくれようとして、父親は「智彦!ラーメンが出来たぞ!」

と言って、私は「お父さん!それは焼きそばや!」と言って、匂いがないので父親曰く「新感覚!ソス味のちびラーメン!」と

そばを食べたことになりました。

みなお茶目な父親も、優しい母親も、今でも健在であることに感謝しています。

そばを食べたことになりました。



災害用伝言ダイヤル ポイントは「わたしいまタコ」

災害用伝言ダイヤルは、災害時にNTTから提供されるサービスで、171番に電話をかけて、メッセージを登録・確認できます。地震・噴火などの災害発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に、提供が開始される「声の伝言板」です。

＜使い方＞

- ① 固定電話や携帯電話から171に電話をかける
- ② 自動音声の流れ、伝言を残す場合は1、伝言を再生する場合は2をフッシュ
- ③ その後、伝言を録音(再生)する電話番号を入力
- ④ 音声を録音(再生)します

* 伝言が残せる時間は30秒しかありません。ポイントは、「わたしいまタコ」です。



災害時以外にも、体験利用日に設定されている日は、誰でも実際に体験することが出来ます。いざというときに戸惑わずに話せるよう備えておきましょう

- 毎月1日・15日 00:00~24:00
- 正月三が日(1月1日00:00~1月3日24:00)
- 防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)
- 防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

「わたし」 私の名前
 「い」 居場所を知らせる
 「ま」 まわりに誰がいるか
 「タ」 体調(ケガはないか)
 「コ」 今後の行動

